

令和2年度の重点課題

○新型コロナウイルス感染症対策に伴い、測定種目を9種目から7種目に変更し、測定方法も独自の方法で実施したため、正確な数値は測定できなかった。

○男子については、敏捷性を要する反復横跳びが県平均値かつ全国平均値（平成31年度）より低い結果となった。

○女子については、全身持久力を要する持久走が県平均値かつ全国平均値（平成31年度）より低い結果となった。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○基礎体力向上のため、新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら、補強運動、ストレッチ等を授業に取入れた。

○各単元において、生徒が自己の課題を把握し、場作りや、練習場所を選択して学習ができるよう配慮したと同時に、教え合い学習を積極的に取入れ、できる喜びを味わうよう授業作りを行った。

○昼休みに体育館及びグラウンドを開放し、自由に運動ができる機会を設けた。

○長期休業中に、部活動以外での体づくり運動を取組ませた。

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和元年度）・全国平均値（令和元年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	26.52	26.52	37.43	51.29	79.19		7.78	200.48	22.29	43.21	第2学年	24.18	25.27	40.45	49.73	74.60		8.12	181.64	15.55	57.25

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和2年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	26.52	26.52	37.43	51.29	79.19		7.78	200.48	22.29	43.21	第2学年	24.18	25.27	40.45	49.73	74.60		8.12	181.64	15.55	57.25

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	81.00	9.5	9.5	0.00	第2学年	90.9	0.00	9.1	0.00

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	88.2	11.8	0.00	0.00	第2学年	81.00	9.5	9.5	0.00
男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第3学年	100.00	0.00	0.00	0.00	第1学年	100.00	0.00	0.00	0.00
女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	90.9	0.00	9.1	0.00	第3学年	79.3	17.2	6.9	0.00

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

「握力」・・・体育の授業で握力向上に向けた補強運動を行う。また、体づくり運動では、雑巾絞り運動やペットボトル運動など握力向上に向けた取組みを行う。

「長座体前屈」・・・柔軟性を確保するため、筋力向上の補強運動だけではなく、柔軟性を意識したストレッチ等を行う。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ペアでのストレッチを行わず、個人でできるストレッチを行う。

体育の授業以外で行う取組内容

・昼休みに体育館、グラウンドで体を動かす生徒が固定化されているので、積極的に体を動かすよう声掛けを行う。

・長期休業中に、運動計画を立てさせ、体力低下を防ぐ。

重点課題

情意面での課題

○男子

・男子については学年問わず、運動やスポーツをすることが好きと答える生徒が多かった。

○女子

・女子については、学年が上がるにつれ、好き、やや嫌いと答える生徒が増加傾向にある。

体力面での課題

○男子

・全学年、「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」が全国平均及び県平均の数値よりも低い結果であった。

○女子

・全学年、「長座体前屈」「20mシャトルラン」が全国平均及び県平均の数値よりも低い

令和4年度の重点目標値

○全学年「握力」「長座体前屈」を県平均値以上にする。

○男子は「上体起こし」の数値の平均を30回にする。

○女子は「長座体前屈」の平均を40cmにする。

○運動に対し、する、見る、支えるなどの様々な視点があることを理解させ、運動好きを増やす。